

# M&Inext

QDCAM 専用録画再生装置

## QDVS-1100

### 簡易説明書

型番：ME-QDVS-1100



2023年10月27日

Copyright (C) 2023 MEDIAEDGE Corporation

## I-1. ご使用前に

### ■ パッケージ内容の確認

QDVS-1100 のパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。  
製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました販売店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

株式会社M&Inext  
TEL : 045-415-0203  
FAX : 045-415-0255  
MAIL : contact@minext.jp

### QDVS-1100 の同梱物

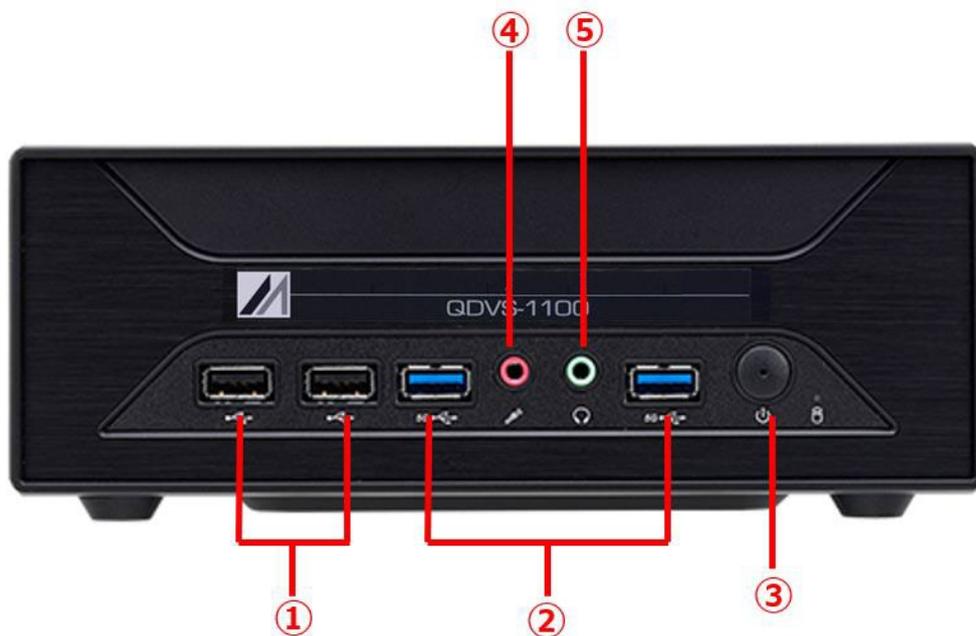
- QDVS-1100 本体x1
- キーボード x1
- 専用小型キーボード x1
- マウス x1
- 簡易マニュアル x1  
※取扱説明書は当社 HP から PDF でダウンロード可能
- お客様情報登録案内 x1
- 同梱物一覧シート x1

### ■ 当社ホームページについて

QDVS-1100 を始めとする当社の最新情報をホームページ（<https://minext.jp/index>）にて発信しています。当社ホームページにアクセスいただきご利用ください。

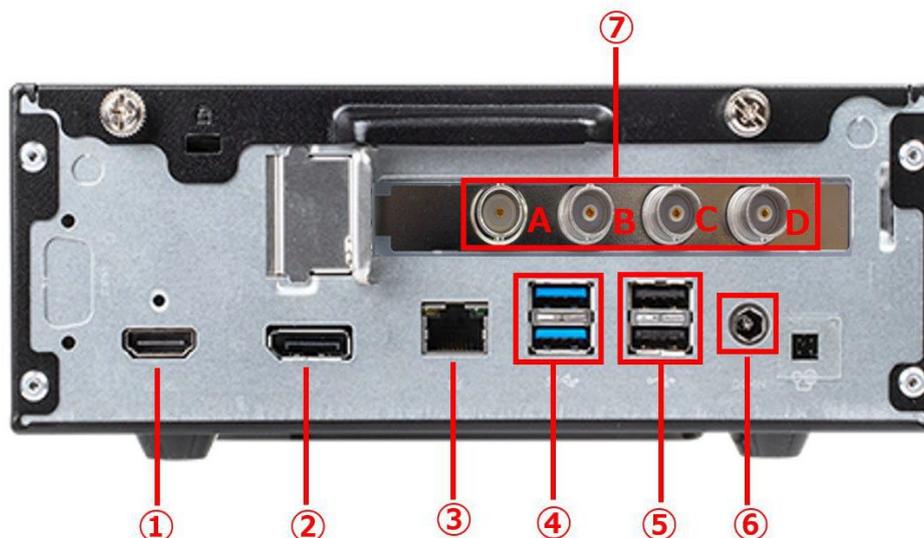
## I-2. 各部の名称

### ■ I-2-1. 本体前面



①	USB2.0 端子	キーボードやマウスなど USB 周辺機器を接続します。
②	USB3.2 Gen1 端子	USB メモリまたはUSB 外付ディスクなどを接続します。
③	電源スイッチ	電源をON/OFF するスイッチです。
④	マイク入力端子	使用しません。
⑤	ヘッドフォン端子	使用しません。

■ I-2-2. 本体背面



①	HDMI 出力端子	QDVS-1100 の設定画面や再生映像を出力する HDMI 端子です。
②	DisplayPort 出力端子	使用しません。
③	LAN 端子	QDVS-1100 をネットワークに接続するための Gigabit Ethernet 端子です。記録映像をNASへ保存するときに利用します。
④	USB3.2 Gen1 端子	USB メモリまたは USB 外付ディスクなどを接続します。
⑤	USB2.0 端子	キーボードやマウスなど USB 周辺機器を接続します。
⑥	電源入力端子	専用 AC アダプターの DC 端子を挿入します。
⑦	SDI 入力端子	<p>QDCAM の出力映像を入力するための 3G-SDIx4 入力端子です。左側から端子 A、B、C、D となります。QDCAM BOX カメラや QDCAM ベース・ユニットと SDI 接続するときは、同じ記号の端子同士（A-A、B-B、C-C、D-D）を接続してください。</p>  <p>BOX カメラの SDI 出力端子          ベース・ユニットの SDI 出力端子</p>

# I-3. 機器の接続、起動と終了、操作の流れ

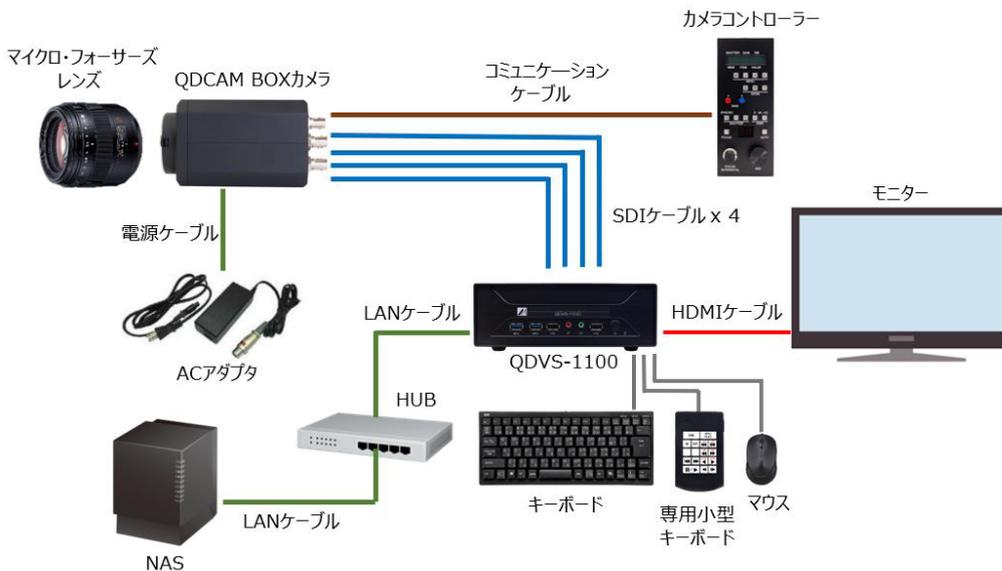
## ■ I-3-1. 機器の接続

以下の接続例を参考に、運用に合わせて QDCAM 機器と QDVS-1100 を接続してください。

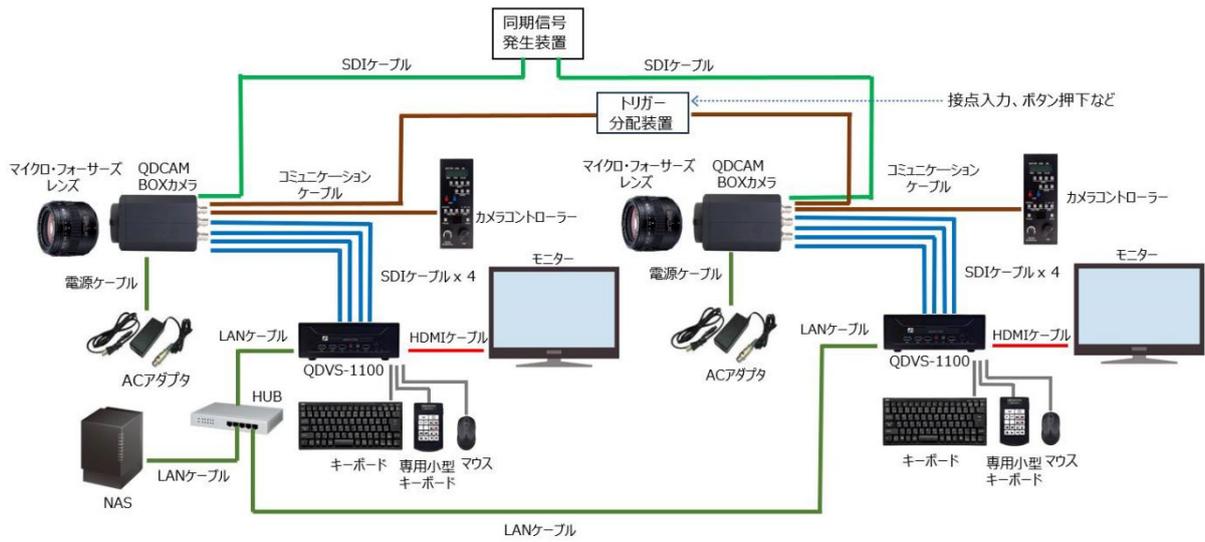
### 1、録画データを本体に接続した USB メモリや USB ストレージに保存する運用



### 2、録画データを NAS に保存する運用

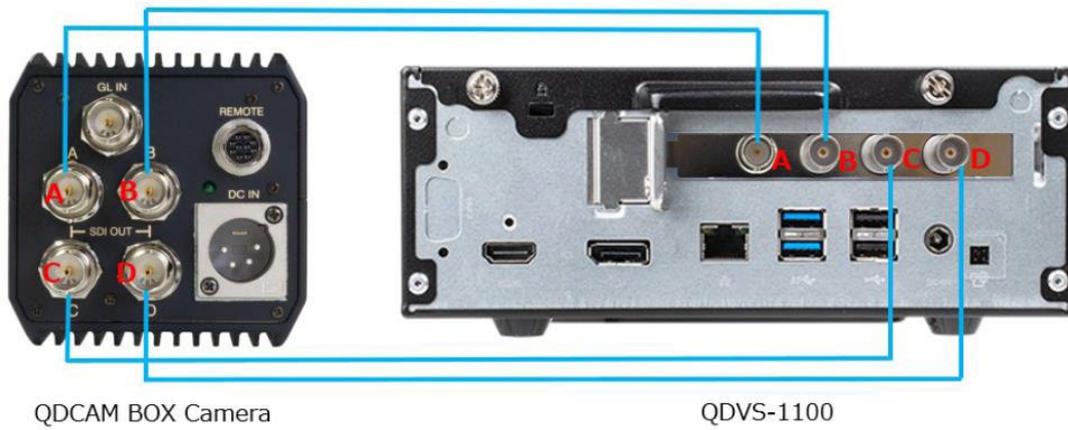


### 3、同期再生・同期録画をする運用



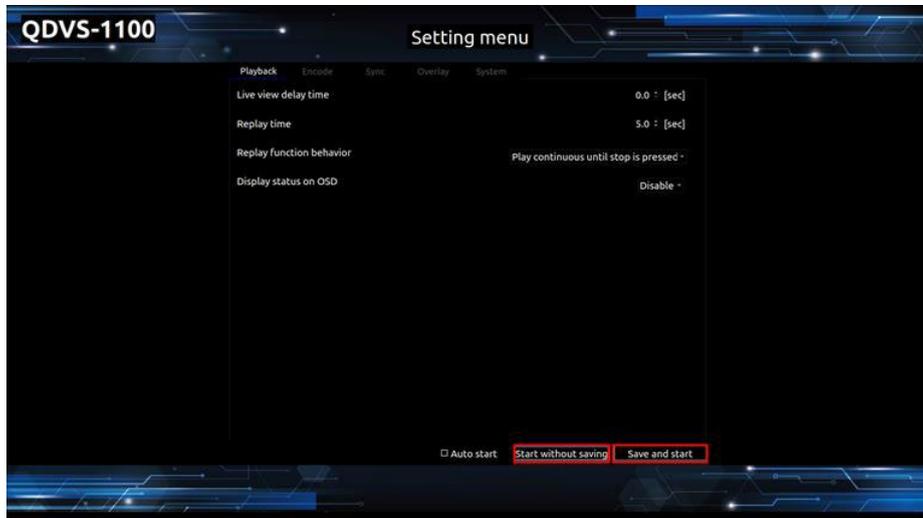
#### ■ I-3-2. SDI ケーブルの接続について

同じ記号の端子同士（A-A、B-B、C-C、D-D）を接続します。



### ■ I-3-3. 起動

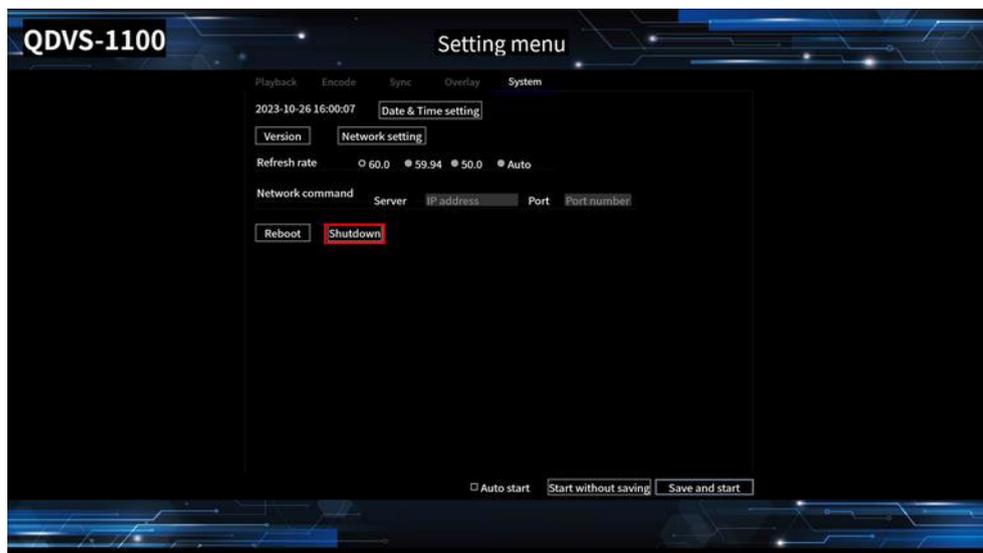
本体に電源ケーブルを接続し、前面の電源ボタンを押すと、システムが起動し設定画面が表示されます。操作に合わせた設定後、画面の右下にあるスタートボタン(Start without saving, Save and start)を押すと、プレイヤーが起動します。



PlayBack 設定画面

### ■ I-3-4. 終了

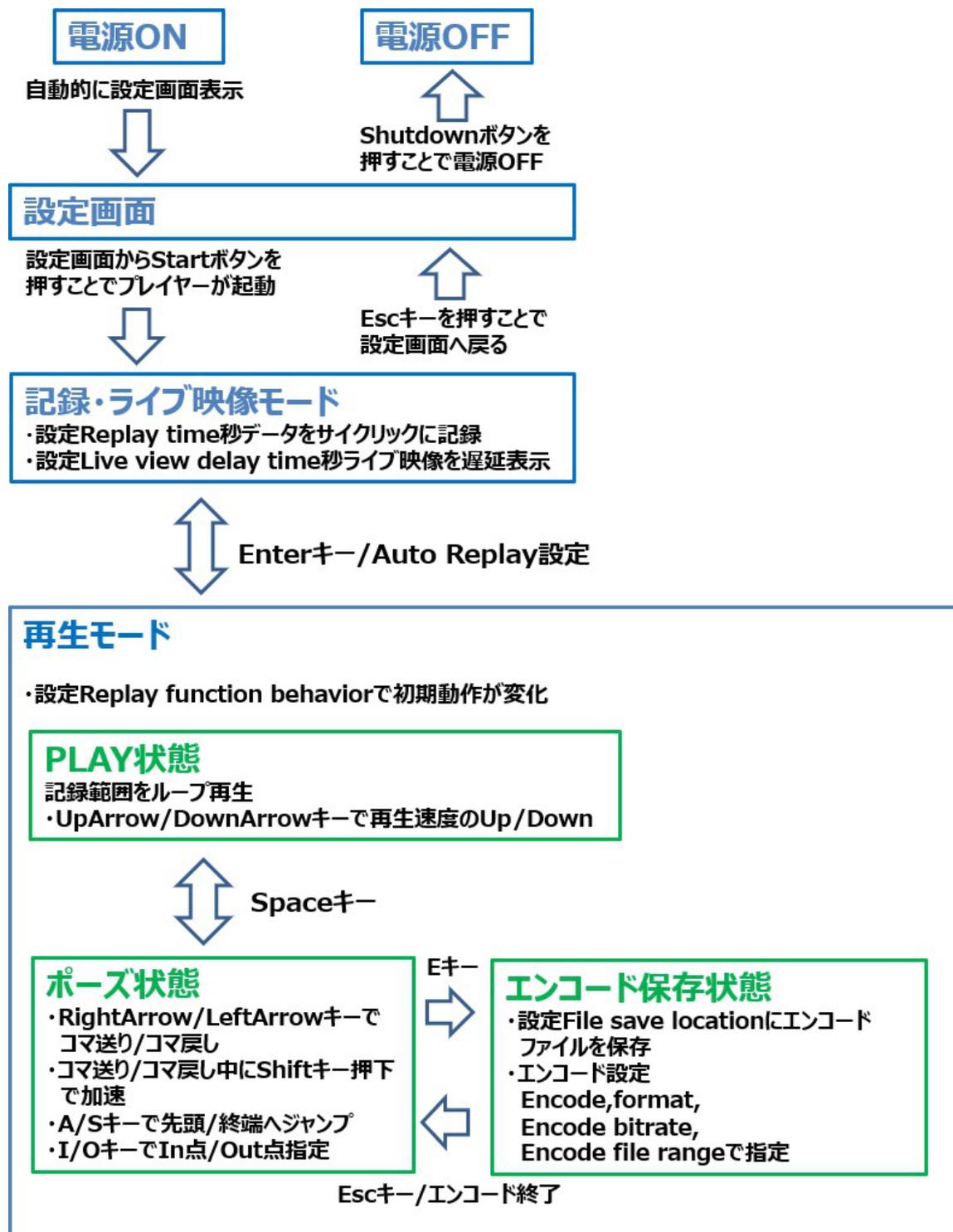
プレイヤー表示中に ESC キーを押すと、設定画面に戻ります。設定画面の右下にある、「Shutdown」ボタンを押してください。ボタンを押すと、確認ダイアログが表示されますので、OK を選択すると終了します。



System 設定画面

## ■ I-3-5. 操作の流れ

電源投入からの操作の流れは下記の通りです。



動作モード遷移

## I-4. 操作説明

### ■ I-4-1. 設定画面

本体が起動すると、自動的に設定画面が表示されますので、操作に合わせた設定を行います。  
設定画面はPlayback、Encode、Sync、Overlay、System の5種類あります。  
目的の設定項目のタブを選択します。

①	Playback	記録・ライブ映像表示、スロー再生時の設定項目
②	Encode	エンコードファイル作成関連の設定項目
③	Sync	同期再生関連の設定項目
④	Overlay	表示映像に静止画を重ね合わせる機能についての設定項目
⑤	System	システム関連の設定項目

#### 1. PlayBack

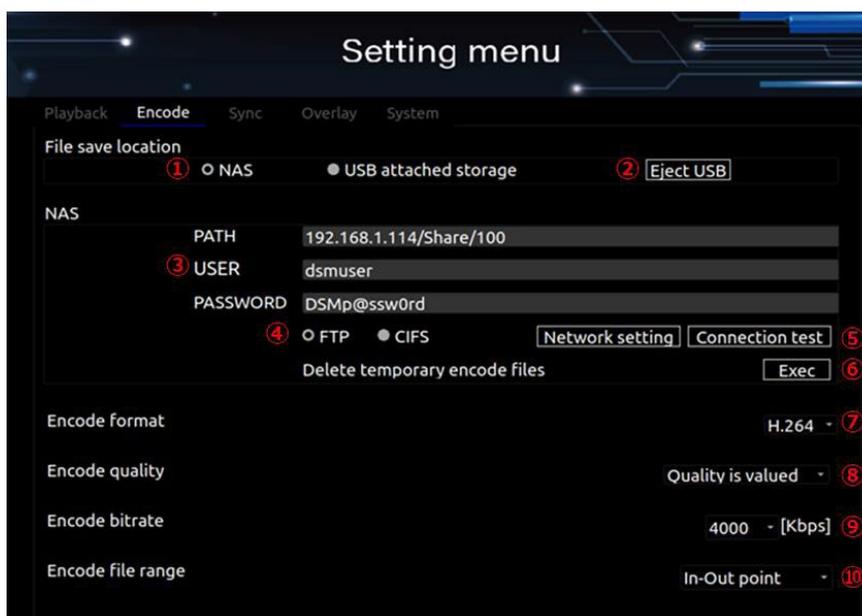


Playback 設定画面

①	Live view delay time	ライブ映像表示の遅延時間を秒で設定します。
②	Replay time	記録時間を秒で設定します。

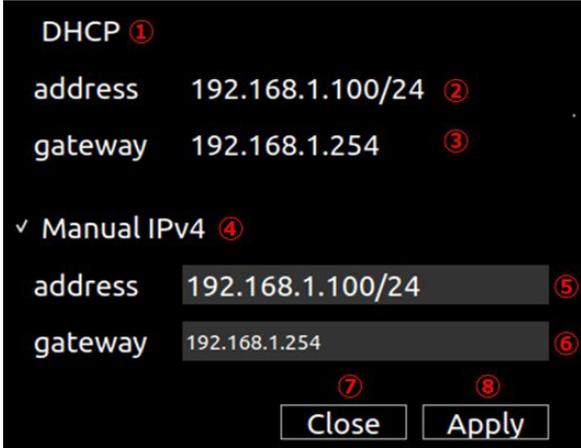
③	Replay Function behavior	再生モードに入ったときの動作を選択します。 Stop on last frame captured : 最終フレームで停止。 Stop on first frame captured : 先頭フレームで停止。 Play continuous until stop is pressed : 自動で再生開始。
④	Display status on OSD	OSD ヘステータス表示の有効・無効
⑤	Auto start	次回以降の起動時、本画面を表示せずにプレイヤーを起動します。
⑥ ⑦	プレイヤー起動ボタン	Save and start : 設定値の変更を反映させてプレイヤーを起動。 Start without saving : 設定値の変更を反映せずにプレイヤーを起動。

## 2、Encode



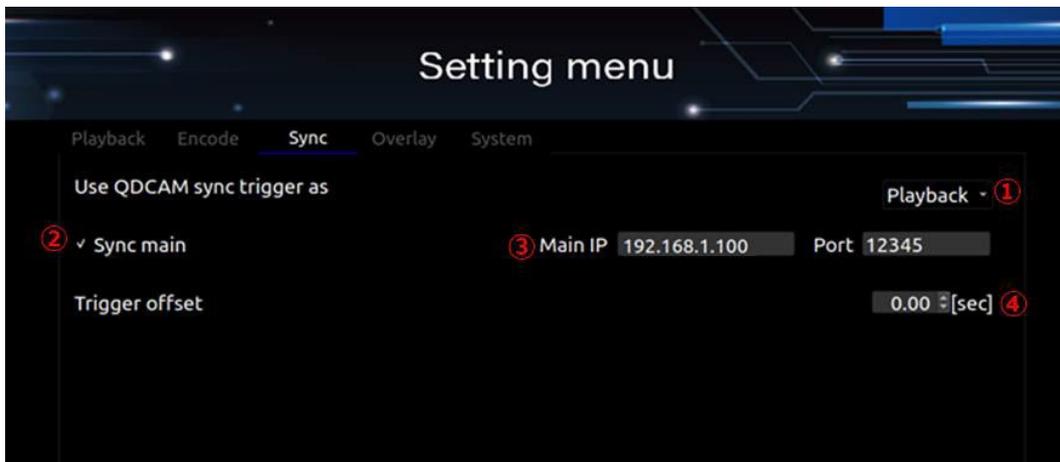
Encode 設定画面

①	File save location	NAS/USB
②	Eject USB	USB ストレージ取り出しボタン
③	NAS	NAS の設定をします。PATH, USER, PASSWORD 設定例： NAS の IP アドレスが 192.168.1.100、共有フォルダ名が video の場合 PATH 192.168.1.100/video

④	FTP or CIFS	NAS へアップロードする際のプロトコルを指定します。																								
⑤		<p>Network setting ボタン : ネットワーク設定ダイアログを開き、ネットワーク設定の変更が出来ます。</p>  <table border="1" data-bbox="491 734 1222 1323"> <tr> <td>①</td> <td>DHCP</td> <td>IPv4 アドレスを DHCP から取得する場合にチェックします。</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>address</td> <td>現在の IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で表示します。※ 1</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>gateway</td> <td>現在の IPv4 ゲートウェイを表示します。</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>Manual IPv4</td> <td>IPv4 アドレスを手動設定する場合にチェックします。</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>address</td> <td>IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で設定します。※1</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>gateway</td> <td>IPv4 ゲートウェイを設定します。</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>Cancel button</td> <td>設定の変更を反映せずにネットワーク設定を終了します。</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>Apply button</td> <td>設定の変更を反映してネットワーク設定を終了します。</td> </tr> </table> <p>※ 1 CIDR 形式 : サブネットマスクを 2 進数で表現し、最上位から連続して何 bit が 1 になっているかをもって、「/ビット数」のように表現します。255.255.0.0 -&gt; /16 255.255.255.0 -&gt; /24 255.255.255.128 -&gt; /25</p> <p>Connection test ボタン : NAS の設定で接続可能かテストします。</p>	①	DHCP	IPv4 アドレスを DHCP から取得する場合にチェックします。	②	address	現在の IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で表示します。※ 1	③	gateway	現在の IPv4 ゲートウェイを表示します。	④	Manual IPv4	IPv4 アドレスを手動設定する場合にチェックします。	⑤	address	IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で設定します。※1	⑥	gateway	IPv4 ゲートウェイを設定します。	⑦	Cancel button	設定の変更を反映せずにネットワーク設定を終了します。	⑧	Apply button	設定の変更を反映してネットワーク設定を終了します。
①	DHCP	IPv4 アドレスを DHCP から取得する場合にチェックします。																								
②	address	現在の IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で表示します。※ 1																								
③	gateway	現在の IPv4 ゲートウェイを表示します。																								
④	Manual IPv4	IPv4 アドレスを手動設定する場合にチェックします。																								
⑤	address	IPv4 アドレスとサブネットマスクを CIDR 形式で設定します。※1																								
⑥	gateway	IPv4 ゲートウェイを設定します。																								
⑦	Cancel button	設定の変更を反映せずにネットワーク設定を終了します。																								
⑧	Apply button	設定の変更を反映してネットワーク設定を終了します。																								
⑥	Delete temporary encode files	QDVS 内に作成されたエンコードファイルを削除します。 アップロードプロセスが NAS のフォルダと同期をとるため、NAS フォルダ内のエンコードファイルを移動・削除した場合に再アップロードしないための処置。																								
⑦	Encode Format	エンコードファイル保存時のフォーマットを指定します。ProRes : ProRes422 MOV ファイルで保存します。 H.264 :																								

		H.264 MP4 ファイルで保存します。
⑧	Encode Quality	Speed is Valued 速度優先の設定です。結果として Quality is Valued に対してファイルサイズが小さくなる傾向にあり、エンコード時間が短く、画質がやや悪くなります。 Quality is Valued 画質優先の設定です。結果として Speed is Valued に対してファイルサイズは設定したビットレートに近い値になり、エンコード時間がやや長くなり画質が改善されます。
⑨	Encode Bitrate	エンコードファイル書出し時のビットレートを指定します(H.264 のみ有効)。
⑩	Encode File range	エンコードファイル書出し時の範囲を指定。 Playback frames : 録画ファイル全体。 In-Out point : In/Out 点間。

### 3. Sync

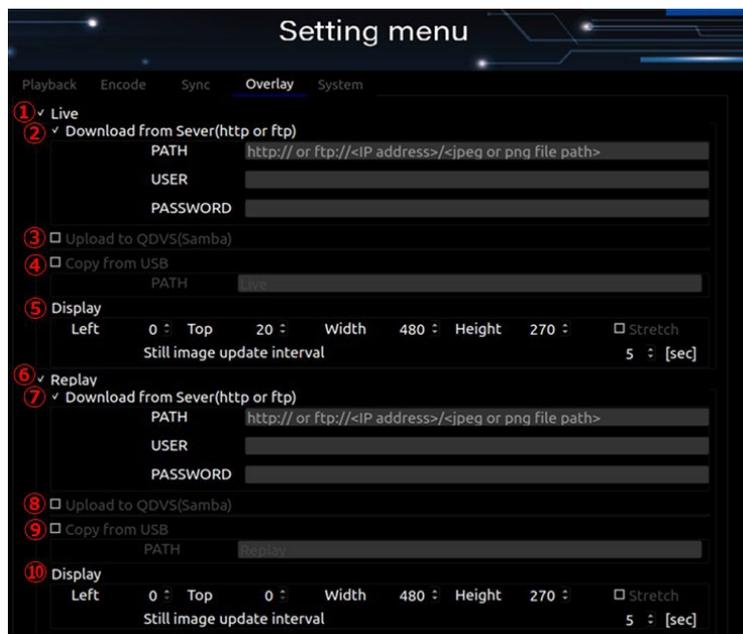


Sync 設定画面

①	Use QDCAM sync trigger as	複数台の QDVS の同期機能の有効・無効 Disable : 無効。 Encoding : 同期録画ファイル作成機能を有効。 Playback : 同期再生機能を有効。
②	Sync main	同期機能のメイン機として動作。 Main IP Main 機でない場合、Main 機の IP アドレスを指定します。 Port 同期のための情報をやり取りするネットワークポート番号を指定します。
	Main IP	Main IP :

③	Port	同期機能のサブ機として動作する場合(Sync main : 未チェック)、メイン機の IP アドレスを指定します。 Port : メイン・サブ機間で同期をとるための通信に使用するポート番号を指定します。
④	Trigger offset	同期エンコード機能有効時、QDCAM からのトリガーに対して録画ファイルのオフセットを指定します。 設定例 : Replay time 5[sec], Trigger offset 0[sec]の場合の録画ファイルは 5 秒前からトリガー受信タイミングまでの映像となります。 Replay time 5[sec], Trigger offset -5[sec]の場合の録画ファイルは トリガー受信タイミングから 5 秒間の映像となります。 Replay time 5[sec], Trigger offset +2[sec]の場合の録画ファイルは 7 秒前からトリガー受信タイミング 2 秒前の映像となります。

#### 4. OverLay



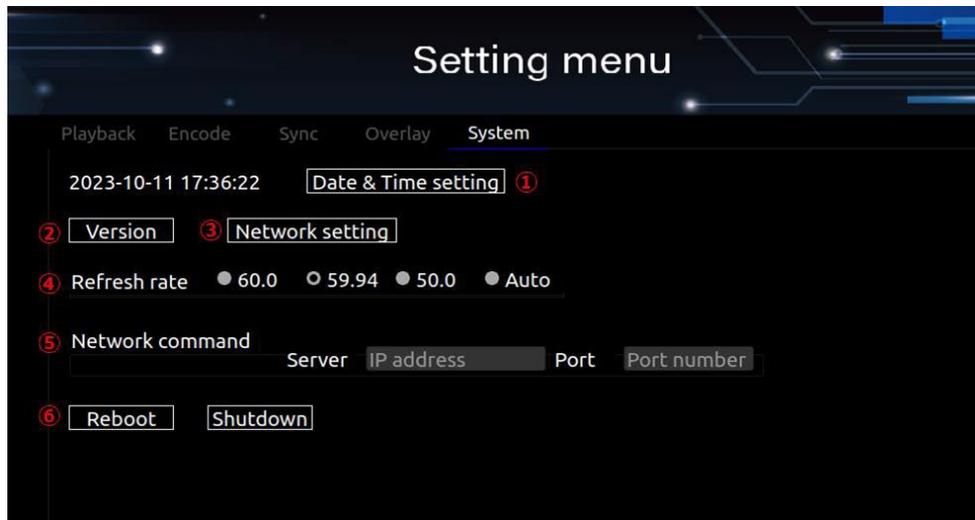
Overlay 設定画面

①	Live	ライブ映像表示に対して静止画の重ね合わせを有効にする。 ※静止画はjpeg もしくはpng
②	Download from Server (http or ftp)	ライブ映像表示に対して重ね合わせる静止画をNAS からダウンロードする。 PATH : http://<ip-address>/<path> or ftp://<ip-address>/<path>
③	Upload to QDVS (Samba)	ライブ映像表示に対して重ね合わせる静止画をQDVS に対して Samba でアップロードする。

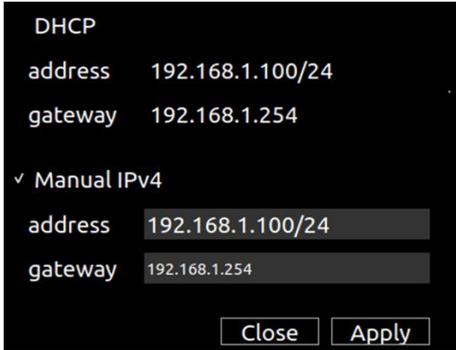
		QDVS の公開フォルダ Live に対して静止画をアップロード。
④	Copy from USB	ライブ映像表示に対して重ね合わせる静止画をUSB からコピーする。 PATH には USB のルートからのパスを指定。 例えば USB のルートにフォルダ image を作成し image フォルダ内に live フォルダを作成する場合、 image/live を設定する。
⑤	Display	Left, Top, Width, Height : 静止画の表示位置、サイズを指定。 左上が Left=0, Top=0、右下が Left=1920, Top=1080 となる。 Stretch : 静止画のサイズが表示サイズと異なる場合に表示サイズに合わせて引き伸ばす。 Still image update interval[sec] : 複数の静止画が含まれる場合に表示する静止画を切り替える間隔。 静止画の表示順は名前ソート昇順となる。
⑥	Replay	スロー再生映像表示に対して静止画の重ね合わせを有効にする。 ※静止画はjpeg もしくはpng
⑦	Download from Server (http or ftp)	スロー再生映像表示に対して重ね合わせる静止画をNAS からダウンロードする。 PATH : http://<ip-address>/<path> or ftp://<ip-address>/<path>
⑧	Upload to QDVS (Samba)	スロー再生映像表示に対して重ね合わせる静止画をQDVS に対して Samba でアップロードする。 QDVS の公開フォルダ Replay に対して静止画をアップロード。
⑨	Copy from USB	スロー再生映像表示に対して重ね合わせる静止画をUSB からコピーする。 PATH には USB のルートからのパスを指定。 例えば USB のルートにフォルダ image を作成し image フォルダ内に replay フォルダを作成する場合、 image/replay を設定する。
⑩	Display	Left, Top, Width, Height : 静止画の表示位置、サイズを指定。 左上が Left=0, Top=0、右下が Left=1920, Top=1080 となる。 Stretch : 静止画のサイズが表示サイズと異なる場合に引き伸ばすことで表示領域に合わせる。

	Still image update interval[sec] : 複数の静止画が含まれる場合に表示する静止画を切り替える間隔。 静止画の表示順は名前ソート昇順となる。
--	---

## 5、System

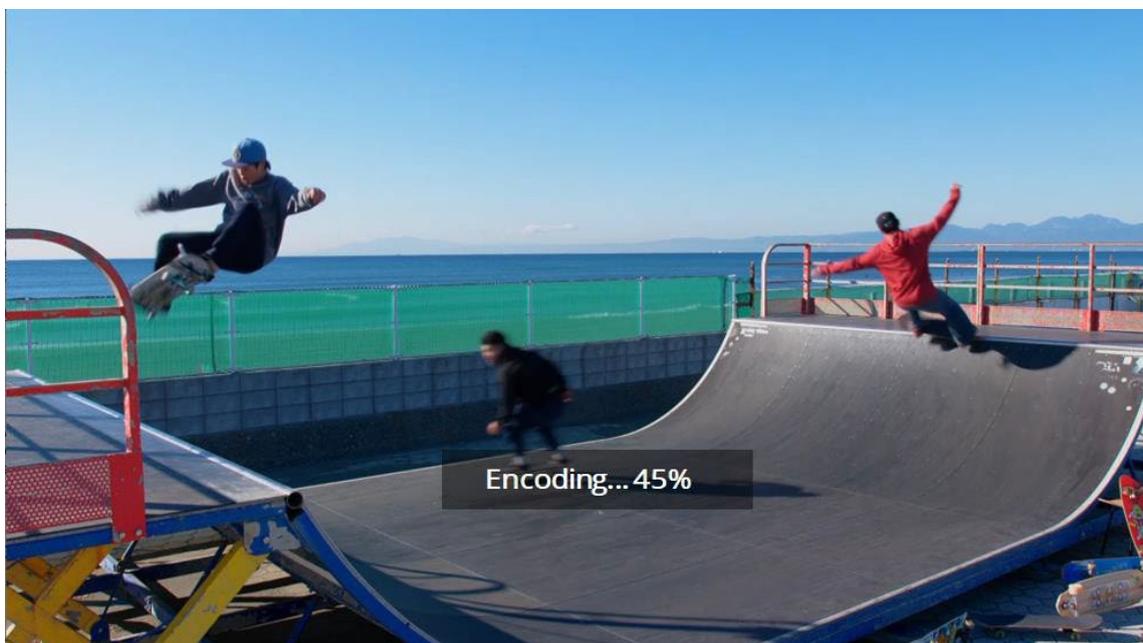


System 設定画面

①	Date & Time setting	日付・時刻、タイムゾーン設定。
②	Version	アプリケーションのバージョンを表示。
③	Network setting	ネットワーク設定ダイアログを開き、ネットワーク設定の変更が出来ます。 
④	Refresh rate	ビデオ出力のリフレッシュレートを設定。 Auto に設定すると入力映像と同じリフレッシュレートになります。
⑤	Network command	ネットワーク経由で遠隔操作、複数台操作する場合のネットワークコマンドサーバーへの接続を設定。 ※別途ネットワークコマンドを発行するアプリケーションをインストールした PC が必要
⑥	Reboot/Shutdown	QDVS のリブート、シャットダウンを行う。

## ■ I-4-2. 記録・ライブ・再生画面

1、設定画面で設定を行った後、Start ボタンを押すと、設定に合わせた再生画面が表示されます。



(例) 再生中にエンコード・保存を行った時の画面（再生画面は常にモニター全体に表示されます）

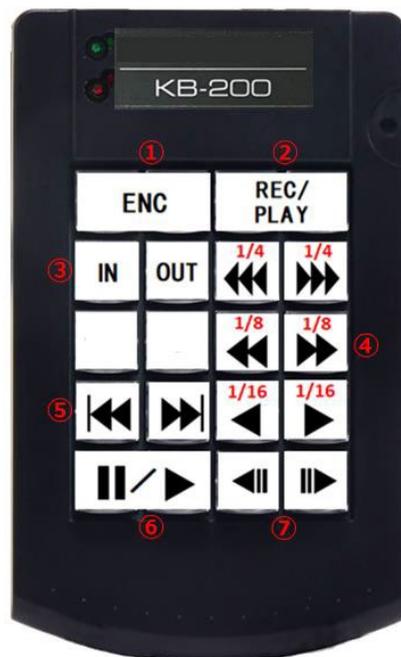
2、再生画面が表示された後は、キーボード、マウスによって操作を行います。

使用可能なキー・マウス操作の一覧

ESC	プレイヤーを終了して設定メニューへ戻る・エンコード処理の中断
Enter	記録・ライブ表示モードと再生モードを切り替える。
Space	再生モード中に Play(再生)・Stop(ポーズ)を切り替える。
LeftArrow	再生モード Stop 中にコマ戻し。
RightArrow	再生モード Stop 中にコマ送り。
Shift	再生モード Stop 中にRightArrow または LeftArrow と同時押しで Forward/Reverse function behavior 設定フレーム数のコマ送りまたはコマ戻し。
Mouse Left Click	再生モード時、クリックした点を中心に拡大表示。 1.2 倍 > 1.5 倍 > 2.0 倍 > 3.0 倍
Mouse Right Click	拡大解除。
UpArrow	再生モード Play 中に再生速度 Up。
DownArrow	再生モード Play 中に再生速度 Down。
A	再生モード Stop 中に記録データの先頭に戻る。

S	再生モード Stop 中に記録データの終端に戻る。
I	記録・ライブ表示モード： 表示中フレームを再生モード遷移時の先頭位置（In 点）として記憶。再生モード： 記憶した先頭位置へジャンプ。
O	記録・ライブ表示モード： 再生モードへ遷移。 再生モード： 表示中フレームをエンコード保存時の終端位置（Out 点）として記憶。
X	再生モード Stop 中にInOut 点をリセット。
D	記録・ライブ表示モード中に押すと遅延時間設定の有効・無効が切り替える（カメラの補正等に使用）。
E	再生モード中にエンコード保存を開始する。
F	再生モード Play 中に再生方向を順方向に変更。
R	再生モード Play 中に再生方向を逆方向に変更。
G	記録・ライブ表示モード中に、再生モード遷移>エンコード保存>記録・ライブ表示モード遷移（1Key エンコード）
0	再生モード中であればポーズ
1	再生モード中であれば 1 倍速再生
2	再生モード中であれば 1/2 倍速再生
4	再生モード中であれば 1/4 倍速再生
8	再生モード中であれば 1/8 倍速再生
6	再生モード中であれば 1/16 倍速再生
3	再生モード中であれば 1/32 倍速再生
P	OSD 状態表示の有効/無効の切替 画面右上に 記録・ライブ表示モード中：「Live」表示 再生モードStop 中：「Pause」表示
K	記録・ライブ映像モードであれば再生モードへ遷移 再生モード遷移後、ポーズ状態となる 再生モードであれば再生状態とポーズ状態の切替
L	再生モードから記録・ライブ映像モードへ遷移
F12	静止画表示の有効・無効を切り替える。

3、同梱の専用小型キーボードでも操作が可能です。



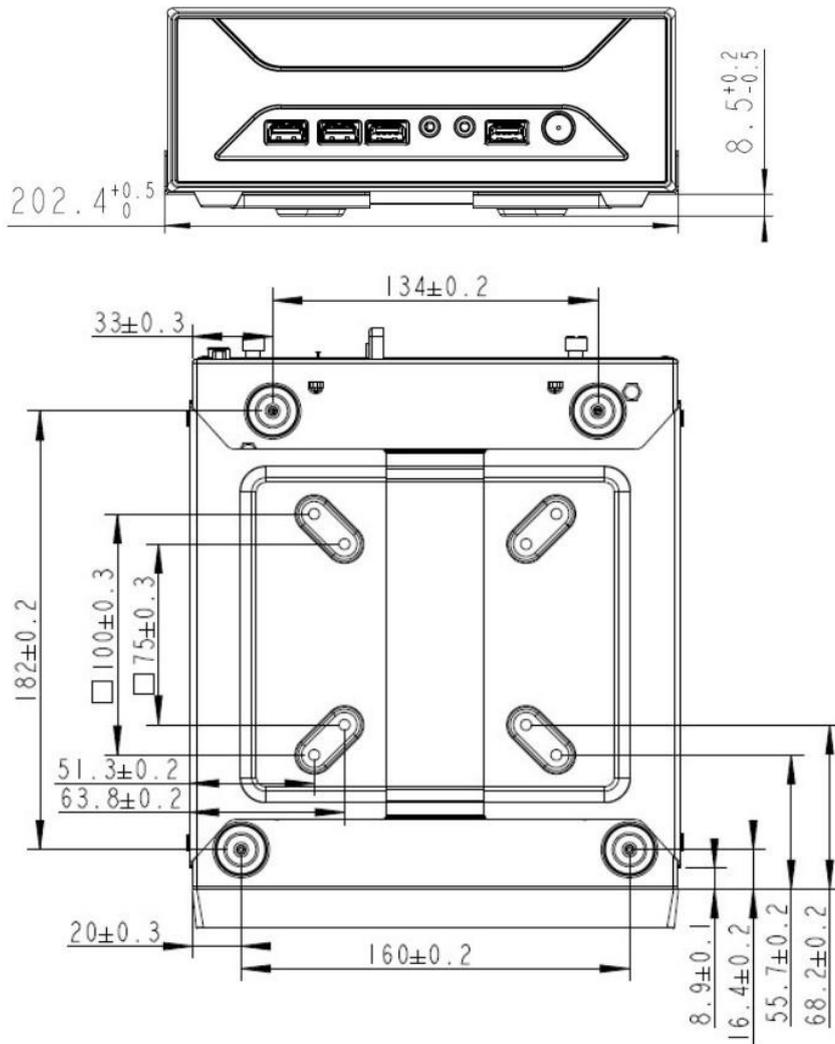
キーボタンに対する動作の説明

①	ENC	エンコードを開始します。
②	REC/PLAY	録画と再生を切り替えます。
③	IN、OUT	IN 点、OUT 点を設定します。
④	1/4▶▶▶、1/8▶▶、1/16▶ 1/4◀◀◀、1/8◀◀、1/16◀	前方にスロー再生（1/4,1/8,1/16）を行います。 後方にスロー再生（1/4,1/8,1/16）を行います。
⑤	I◀◀、▶▶I	先頭、最後で停止します。
⑥	/▶	静止・再生を切り替えます。
⑦	◀  、  ▶	後方や前方にコマをステップ移動します。

## I-5. 外形寸法図



※ 本体サイズに加えて上面に 50mm、背面に 50mm 以上空間を空けて設置してください



## I-6. 仕様

### ■ハードウェア仕様

サイズ	
外形サイズ	200(W) × 250(D) × 78.5(H) mm ※突起物は含まず。
質量	1.91kg

定格		
電源電圧	AC アダプター	入力:AC 100V~240V(50Hz/60Hz) 180W 出力:DC 19.5V 9.23A
	本体	入力:DC 19.5V 9.23A
	最大消費電力	通常動作時:60W
RoHS	対応	

ネットワーク		
LAN ポート	形式	1000Base-TX ×1 Ethernet/IEEE802.3 フレーム形式に準拠
	端子	RJ45 モジュラーコネクタ ×1

映像音声		
映像出力	形式	HDMI 2.0
音声出力	端子	オーディオ入出力には対応しておりません。

汎用入出力		
USB	形式	USB3.2 Gen1 準拠
	端子	USB Type A ×2 (前面) ×2 (背面)
	形式	USB 2.0 準拠
	端子	USB Type A ×2 (前面) ×2 (背面)

### サポート窓口

## 株式会社M&Inext

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町2-7-10 関内フレックスビル210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: [contact@minext.jp](mailto:contact@minext.jp) URL: <https://qdcam.jp/>

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。  
日本語訳・制作・著作 株式会社M&Inext

2025年10月1日